

今号の表紙 北向神社と坂上田村麻呂

今から1,200年以上前の平安時代に活躍した征夷大將軍坂上田村麻呂は、身馴川の十丈ヶ淵に棲んでいた大蛇を、霊峰赤城山の神霊である赤城大明神の強い霊力をいただき、みごと退治することができました。

田村麻呂は小茂田をはじめ、十条、阿那志、沼上、古郡の五か所に、赤城大明神を赤城山に向かって北向きに祀りました。

この神様を『北向大明神』と敬い『北向神社』と呼ぶようになりました。

おしらせ

次の定例会(本会議)は

3月1日(火) 9:00開会

一般質問は3月17日(木)の予定です。

新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、傍聴者は15名です。



傍聴のご案内
美里 MS ミュリン

編集後記

「新型コロナウイルス」禍の中、2回目の年を越しました。今年は少しコロナウイルスも収まるのかなと思っていましたが、新型コロナウイルスの変異株、オミクロン株の感染が急拡大しはじめました。

日本国内のワクチン接種率は2回接種完了者78.6%、1月中旬現在です。医療現場では、命を守るための懸命な医療が続けられています。

自分自身の為、大切な人の為に、まだワクチン接種を受けていない方は、速やかにワクチン接種を受けましょう。

社会情勢は激変してしまいました。美しい町、より住みよい町を目指して、議員一同頑張っていきたいと思います。

親しみやすく、わかりやすい「議会だより」にして行きたいと思います。ご意見ご要望をお気軽にお寄せください。

委員 田島國利

議会だより編集委員会

委員長 田端 恵美子 副委員長 櫻澤 明
委員 櫻沢 克幸 堀越 賢司
新井 英行 田島 國利

町民の声

[Vol.19]



今回は、美里町で最初に学童保育事業を設立した、中里にお住いの根岸飛佐子さんにインタビューしました。

美里町在住何年ですか。



40年です。当初は不安もありましたが長年住んでいますと、空気はおいしいし、自然は豊かだし、又地域とのつながりもでき心地よく感じています。地域力を実感しています。

40年間の町・自分等への思い出はありますか。



やはり学童保育事業を設立したことですね。子どもが小学校に上がるとき、美里町に学童保育がなく、当時の父母たちと立ち上げ運動を開始し、1984年4月に開設しました。当時はまだ村で村長は新井さんでした。

議員、区長、民生委員、東児玉小学校の先生、また地域の皆様のご支援とご協力により設立できましたことは感無量でした。あれから38年経過し、今では各保育園にて運営されています。

最近の出来事として何かありますか。



2020年1月新型コロナウイルス感染症が確認されました。3年目に入り新変異株も現れ、心身共に消耗しています。平和な日常がくることを願っています。

町・議会に対して要望・意見はありますか。



町の人口を2万人に増やすにはどうしたらいいか、具体的な計画を立てる(情報、インフラ、補助金、住宅環境など)。

議会の議員活動の透明性(ビラなど)。

町民の代表である議員の皆様の一般質問を傍聴してとても勉強になったこと、また町の情報も理解することができました。



Profile プロフィール

氏 名：根岸 飛佐子
家族構成：夫と2人
趣味：水彩画、ヨガ、歌(童謡、唱歌)
モットー：おおらかに今を生きる

編集者：田端恵美子



発行：埼玉県美里町議会
編集：美里町議会だより編集委員会
〒367-0194 埼玉県児玉郡美里町大字木部 323 番地 1
TEL 0495-76-5136 FAX 0495-76-0909